

## はちはくで企画展「家康と八王子」を開催

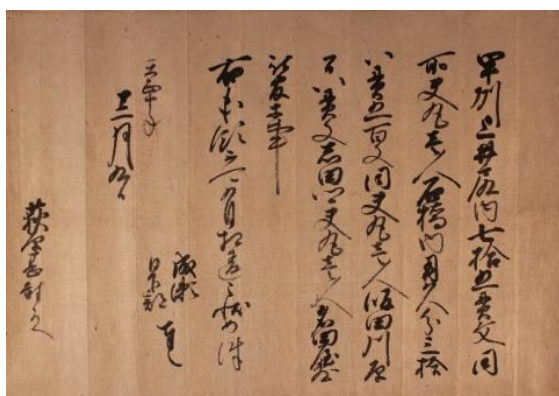
徳川家康は、天正18年(1590年)に関東地方を領地とするようになりました。戦国時代から近世へ移り変わる中で、家康とその家臣たちは八王子に新たな街の形を造り上げることが求められたのです。

その中で結びつきを深めた八王子と家康、そしてその家臣たち。八王子の旧家に伝わる家康からの拝領品、八王子のまちづくりを指導した大久保長安、日光東照宮を守った八王子千人同心等について、資料や写真パネルを使って紹介します。家康と八王子の繋がりを展示から感じてみてください。

**会期** 4月15日(土)～5月28日(日)  
**会場** 桑都日本遺産センター 八王子博物館(愛称・はちはく)  
子安町4-7-1 サザンスカイトワー八王子3階



はちはく HP



▲徳川家康朱印状(写真パネル展示)



▲伝大久保石見守長安座像

### 同時開催 大河ドラマ「どうする家康」パネル展

大河ドラマ「どうする家康」(NHK)の主な登場人物(9名)の等身大パネルと、ドラマの名シーンのパネルを展示します。パネルは撮影可能です。

この機会に家康たちと一緒に写真を撮ってみてはいかがでしょうか。

**会期** 4月25日(火)～5月8日(月)  
**主催** NHK 首都圏局